

「将来の夢はなんですか？」この質問に、職業の名前を答える子どもがほとんどだ。自分だってそうだった。いつだって、何かカッコいい夢=職業を探していた。小学6年生のときには国際公務員という職業をあてはめた。職業の名前を答えることで、安心感さえも抱いていた。年収の多い職業や華やかで目立つ職業が人気だった。そう答えることで、しっかりしている子だねと認めもらえるような気すらしていた。周りの大人たちは、なるべくはやく将来の夢を決めさせたがる。だから、夢がない子はダメだと言われているようにもかんじてしまう。子どもたちは焦って職業を探す。これは本当に正しい夢のあり方なのだろうか？



17キロのリュックサック

生まれてからわずか十数年しかたっていないのに、経験してきたこともこれっぽっちなのに、そんな少ない情報のなかから進む道を定めてしまうのはもったいない。まだまだ吸収してたくさんの情報のなかから選択していても良いはずだ。

モチベーションスピーカーとして活動している私は、最近、立志式に講師として呼ばれる機会が増えた。立志式とは、昔の元服にちなんで数え年で15歳になったことを祝う式であり、大人になるための自覚を深め、将来の決意表明などをする式のことだ。ここでも、やはり多くの子どもたちが職業を発表している。

私はそこで、険しい顔つきではなく、ワクワクした表情を心がけて講演するようにしている。講演では、自身の体験談も交えながら世界の砂漠マラソンでのことやそれに至るまでの過程を等身大に伝える。心からやりたいと思ったことを全力でチャレンジしているうちに、それが私の生き方になった。

話をすすめるほど、子どもたちの顔がキラキラ希望に溢れていくようすがよく分かる。大人になることは自分の可能性を自分でひらいていけるということだ。チャレンジすることはとても楽しいことであり、「できないこと=可能性」きっとそうだ！

本当に大切なのは、何をするかではなくて、その人の心のなかに持ち続ける「志」だと強くそう感じている。これからも志を胸に、日々成長していきたい。

灼熱のサハラ砂漠を230キロ走る「サハラマラソン」。イランの砂漠地帯を250キロ走る「イラニアンシルクロードウルトラマラソン」。200キロ以上を走破する過酷なマラソン大会に去年2度挑戦している岩元さん。ちなみに、サハラマラソンとは、世界一過酷ともいわれているマラソン大会。衣類、食糧、寝袋などすべてのものを背負って（水のみ支給あり）一週間で合計約250kmのレース。場所はアフリカ大陸、サハラ砂漠。灼熱な砂漠は平均気温35～40℃、最高気温は50℃にもなることもある。夜や明け方は冷え込み、環境の変化が激しいなかでのレース。

●ホームクラブ出席率 80%を目指しましょう！

出席報告	第2960回	第2958回訂正
会員数	40(38)名	40(38)名
出席数	18名	24名
出席率	47.37%	63.16%

●今後の予定

6/10(水)	外部卓話 鹿児島キワニスクラブ渡辺会長
6/17(水)	クラブフォーラム (新年度部門別協議)
6/24(水)	第6回クラブ協議会 (年度末懇親会)

市内ロータリークラブのプログラム 記帳メークアップ★11:30~12:30 ☆17:30~18:30

RC	例会日	プログラム	例会場	RC	例会日	プログラム	例会場
東	6/4(木)	フリートーク	サンデイズ イン鹿児島	令和	6/8(月)	クラブ協議会	東急 REI ホテル
北		クラブフォーラム	アートホテル 鹿児島	東南	6/9(火)	クラブ協議会	サンロイヤル
サザン		クラブ協議会	東急 REI ホテル	城西		クラブ協議会	東急 REI ホテル
鹿児島	6/5(金)	フリートーク	山形屋	西	6/10(水)	クラブ協議会	山形屋
中央	6/8(月)	会員卓話「民法改正について」	山形屋	西南		クラブ協議会	ゆうづき